

平成29年 1月報 【平成29年1月1日(日)~1月31日(火)】

鹿児島市感染症情報

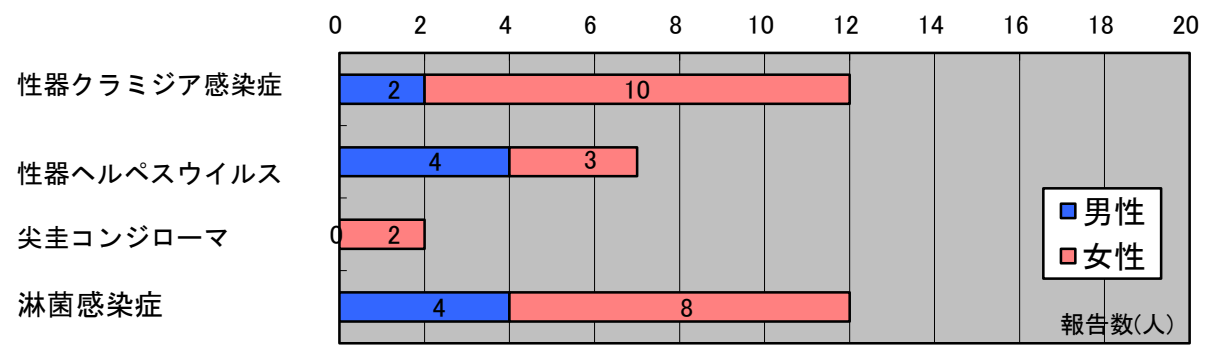
発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉 >健康・医療 >流行疾患、感染症 >感染症の発生状況



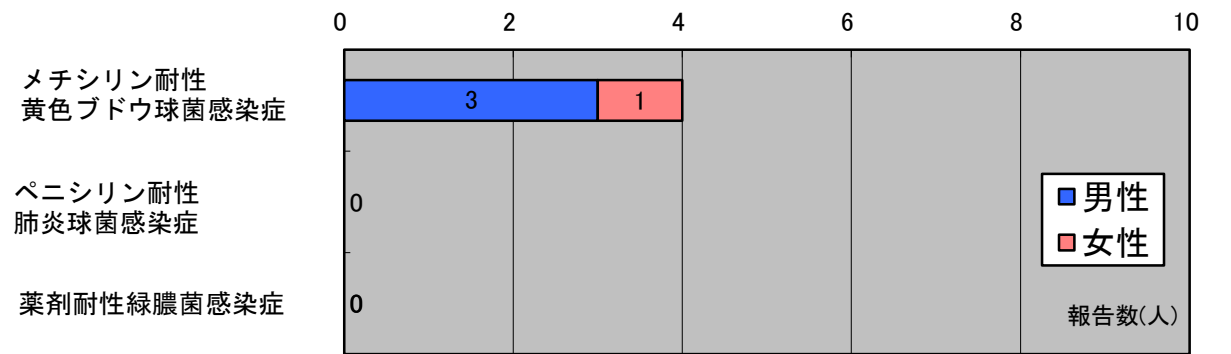
● 定点医療機関における性感染症の報告状況

期間中の患者報告総数は、前月より10人多い33人(男性10人・女性23人)でした。
報告数が最も多かったのは、性器クラミジア感染症と淋菌感染症の12人でそれぞれ(男性2人・女性10人)、(男性4人・女性8人)でした。



● 定点医療機関における薬剤耐性菌感染症の報告状況

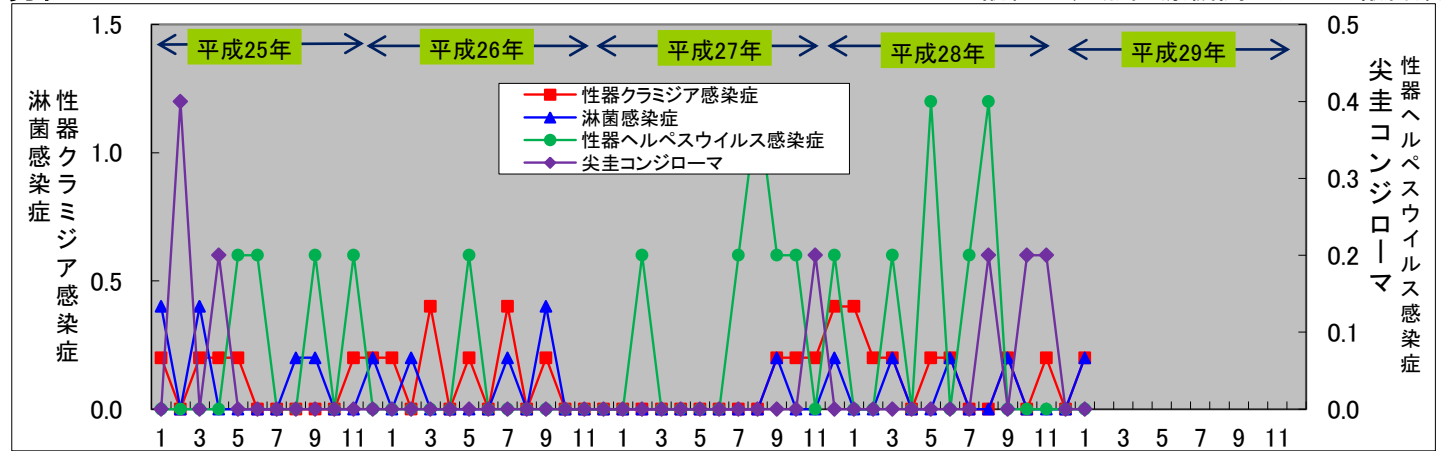
期間中の患者報告総数は、前月より2人多い4人で、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の男性3人、女性1人でした。年齢別の内訳は、5ページを参照してください。



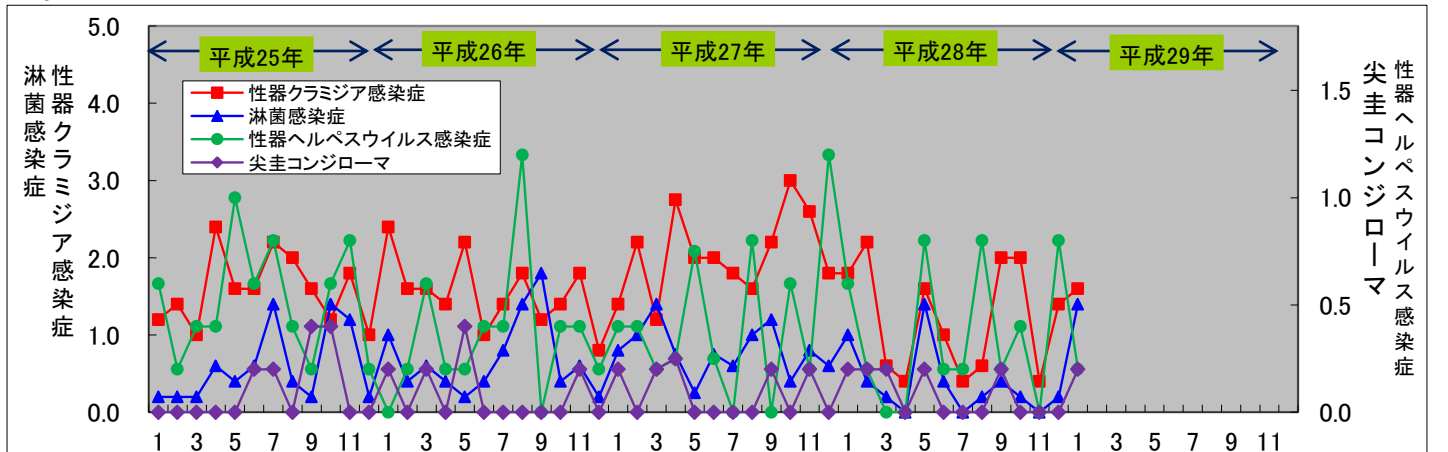
●若年層（15歳～29歳）における性感染症の年別・月別の推移

男性

縦軸: 1定点医療機関における報告数

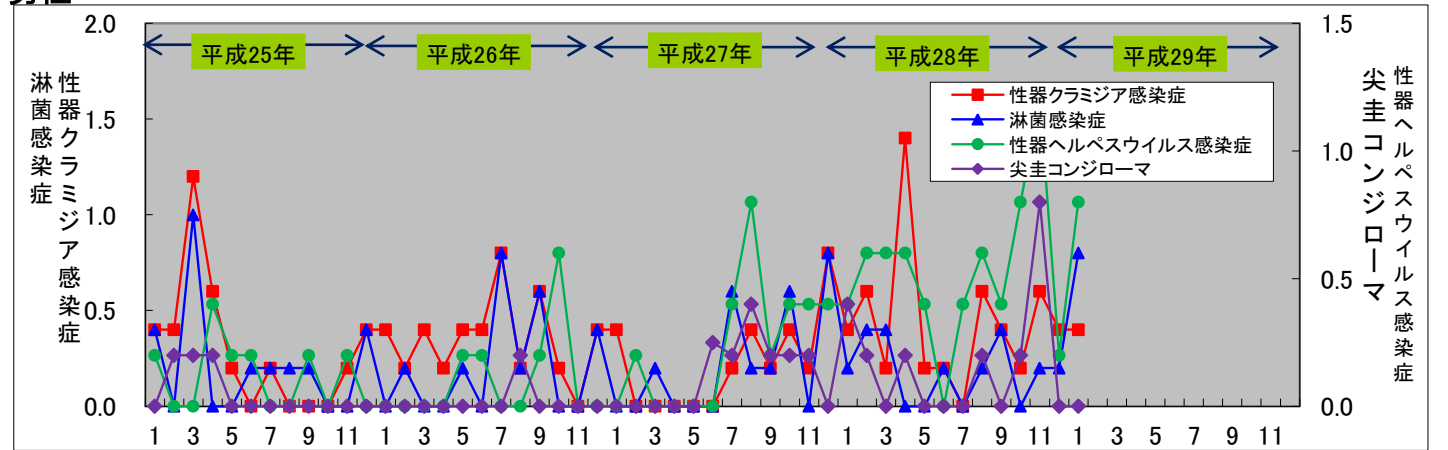


女性

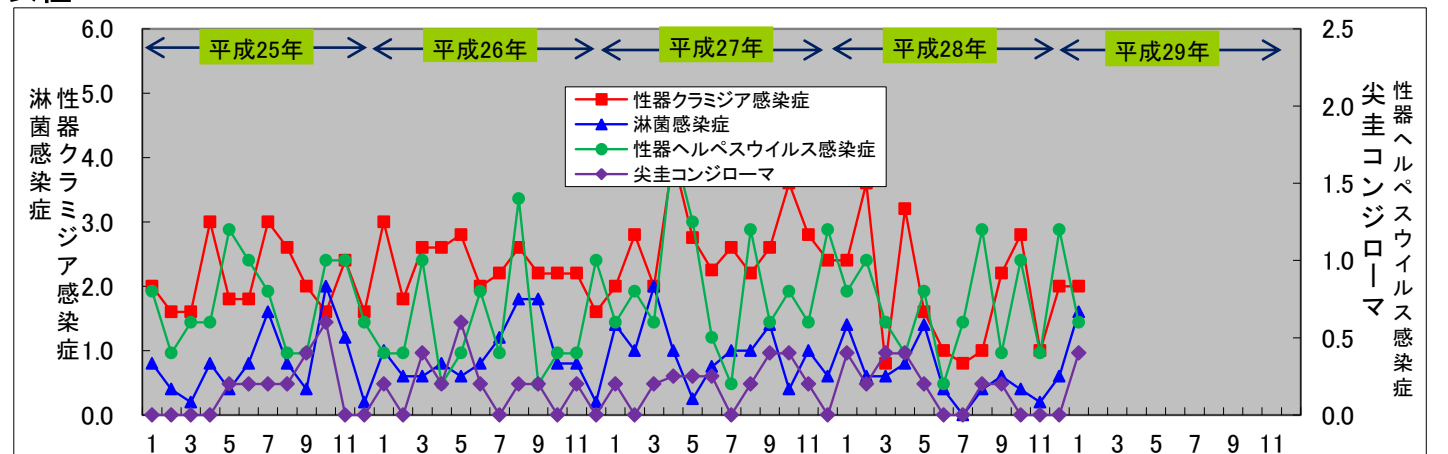


●全年齢層における性感染症の年別・月別の推移

男性



女性

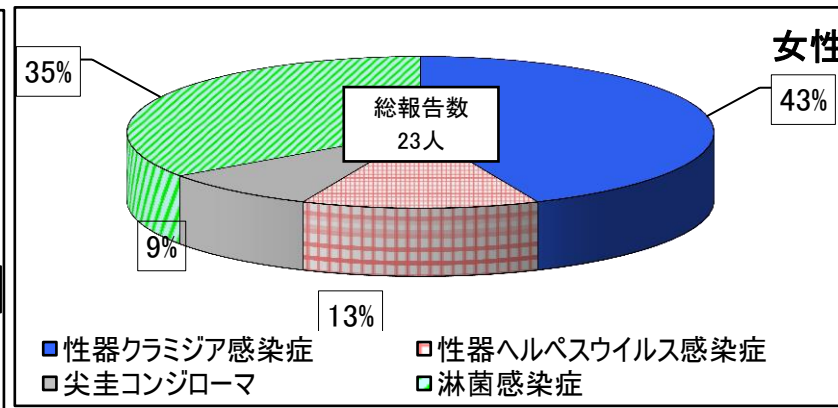
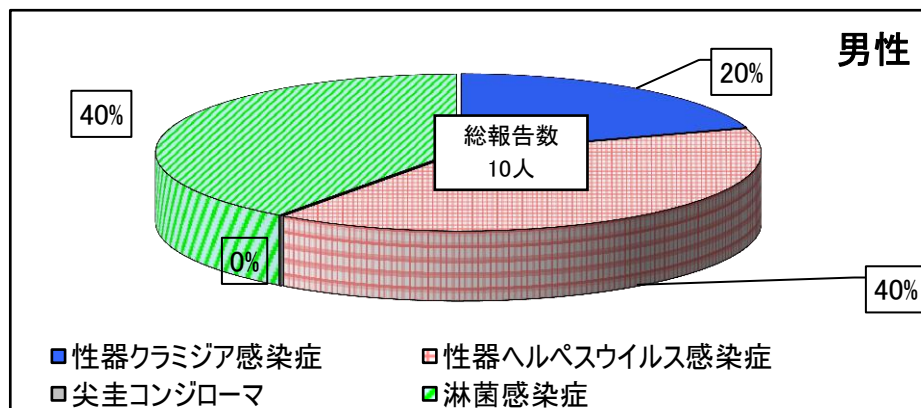


● 各疾病の報告状況

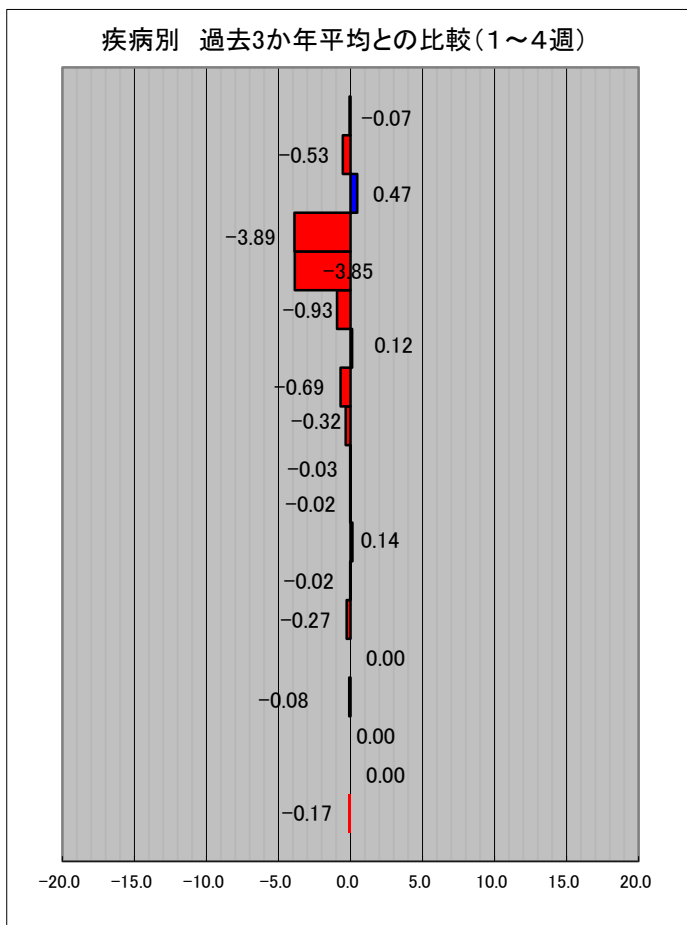
定点種別	前月比	疾患名	今月 (平成29年 1 月)				前月 (平成28年 12 月)				平成28年累計 男女合計 (報告数累計)				
			男女合計		男		女		男女合計			男		女	
			報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり		報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり
STD	=	性器クラミジア感染症	12	2.40	2	0.40	10	2.00	12	2.40	2	0.40	10	2.40	140
	=	性器ヘルペスウイルス感染症	7	1.40	4	0.80	3	0.60	7	1.40	1	0.20	6	1.20	77
	△	尖圭コンジローマ	2	0.40	0	0.00	2	0.40	0	0.00	0	0.00	0	0.00	20
	△	淋菌感染症	12	2.40	4	0.80	8	1.60	4	0.80	1	0.20	3	0.60	49
計 (前月比)			33 (+10)		10 (+6)		23 (+4)		23		4		19	286	
基幹	△	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	4	4.00	3	3.00	1	1.00	2	2.00	2	1.00	0	0.00	26
	=	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.00	4
	=	薬剤耐性 緑膿菌感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
計 (前月比)			4 (+2)		3 (+1)		1		2		2		1	30	

※「前月比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前月比増加、「＝」は横ばい、「▼」は減少を示す。

性感染症の発生割合(1月)



平成29年1月(1～4週) インフルエンザ・小児科・眼科定点疾病の発生状況について



1～4週 1医療機関
平均患者報告数

インフルエンザ	27.90
RSウイルス感染症	0.83
咽頭結膜熱	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.87
感染性胃腸炎	9.12
水痘(水ぼうそう)	1.17
手足口病	0.90
伝染性紅斑	0.17
突発性発疹	0.29
百日咳	0.00
ヘルパンギーナ	0.10
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.40
急性出血性結膜炎	0.00
流行性角結膜炎	0.38
細菌性髄膜炎	0.00
無菌性髄膜炎	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00
クラミジア肺炎	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00

インフルエンザの報告数が、第3週(1月16日～1月22日)に警報開始基準値を超え、同じ週に鹿児島県下に流行発生警報が発令されました。今後、更なる感染の拡大が懸念されることから、咳エチケット、外出後のうがい・手洗い及び十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などの感染予防対策に努めてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、過去3か年平均と比較して報告数は減少していますが、例年2月頃から患者数が増加する傾向がみられるので、十分に注意が必要です。

